



第49回東北酪農発表大会

## CONTENTS

新型コロナウイルス感染症に伴う 組合の対応について…………… 1	令和2年度 組合事業の内容について…………… 7
新型コロナウイルス感染拡大 乳価への影響は…… 2	飼料情勢…………… 9
後継者就農促進等支援(就農祝金)…………… 3	暑熱対策 添加剤キャンペーンのお知らせ…………… 10
第49回東北酪農発表大会の開催…………… 3	理事会通信…………… 10
酪農動向調査について…………… 4	売りたい、買いたい…………… 11
第71回通常総会の開催について…………… 4	新型コロナウイルス感染拡大に伴う 物品のご寄付…………… 11
令和元年度生乳需給状況について…………… 5	編集後記…………… 11

## ● 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が広がっており、宮城県内においても日々患者が確認されています。これ以上の感染を防ぐため、当組合におきましても、下記のような対策を行って参ります。

皆様には、ご不便やご迷惑をおかけする場合もあると思いますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

### 対策本部設置について

当組合は4月11日(土)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のリスクを最小限にとどめるため、新型コロナウイルス対策本部を設置しました。

組合員や利用者、役職員の安全を最優先に考え、感染拡大の抑制に努めて参ります。

### 職員の巡回について

当面の間、組合員宅の訪問を原則行わず、お電話等で対応させていただきます。

また、やむを得ず訪問させていただく場合はマスクを必ず着用し手洗い・うがいを励行しております。

### 来所の際について

各所入口に設置しております、アルコールにて手や指の消毒をお願いします。

また、飼料の引き取り等で来所される場合、事前にお電話等でご注文をいただき、伝票を発行し準備いたしております。

### 事務所内の対策について

感染拡大防止として、職員は朝・夜の体温確認、マスク着用を義務付け、1階・2階に分散して業務をしている他、1時間1回の換気と1日2回の消毒作業を行っております。

**※今後も状況の変化を見極めながら、緊急度に応じた対応をして参ります。**

## ● 学校の休校に伴う学校給食向け生乳について

2月末の首相会見による学校休校から、緊急的かつ迅速な生乳需給調整を余儀なくされており、取引乳業者や全国連、関係行政等との連携により、3月上旬からの生乳処理先として加工処理施設を有する域内の乳業メーカーに生乳を輸送するなどして、処理先を模索し向け先の変更を行って来ました。

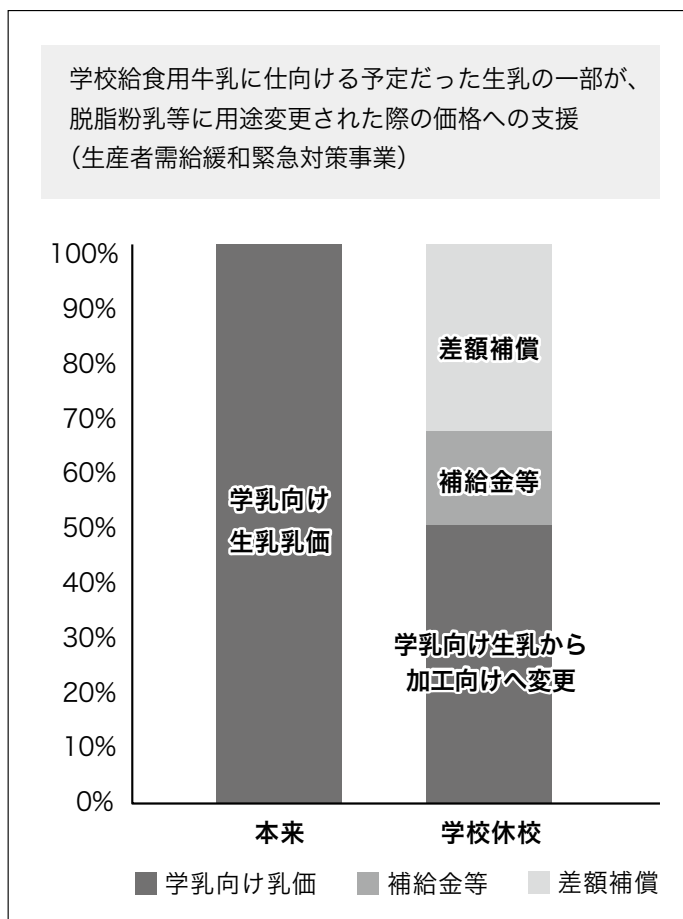
3月分の生乳出荷にあたっては緊急的な対応によって、乳価に影響はありましたが生乳廃棄を回避することが出来ました。さらには4月、5月分の生乳出荷についても影響が想定されますが、生乳廃棄を出さないよう努めて参ります。

なお、国はこれらの損失影響を補完するため予算化し、学校給食向け生乳価格から加工向け価格と補給金等を差し引いた差額と輸送コストの掛かり増し経費を補填することとしております。

また、緊急事態宣言の対象地域拡大によって学校給食や外食産業における牛乳や乳製品の消費の更なる減少が懸念されるため、農林水産省では、酪農家を支えるために消費者に対し牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する【日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」】を4月21日より開始しました。

中央酪農会議では、外出自粛により業務用乳製品の消費が減少し生乳需給が急激に緩和しているため、緊急対策事業を実施します。同事業は各指定団体において、牛乳、生乳使用の醗酵乳を買い上げ、病院、保育園、幼稚園、養護施設などに無償提供を行います。

今後も生乳廃棄を出さないよう、行政、指定団体等と連携しながら取り組んで参りますので、何卒、ご理解ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。



# 酪農後継者等育成支援

指導課

当組合では、後継者就農促進等支援として就農祝金を贈呈しております。  
令和元年度に就農された方々をご紹介します。

【白石・七ヶ宿支部 春 利幸さん】



【蔵王支部 大沼 貴弘さん】



【石巻支部 高橋 将さん】



## 第49回東北酪農発表大会が開催

指導課

3月16日(月)岩手県盛岡市の「TKPメトロポリタン盛岡」にて、東北青年女性会議「第49回東北酪農発表大会」が開催されました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症を受け、大会役員と発表者、事務局のみと、規模を縮小しての開催となり経営発表の部2名、意見・体験の部2名の計4名が揃いました。

意見・体験の部において登米支部の株式会社柴田牧場 柴田みわ子さんが「永劫回帰～一瞬一瞬を大切に生きる～」と題して、子育てと酪農の両立、また今後の目標について発表されました。

惜しくも東北代表には選出されませんでした。堂々たる発表の姿に今後さらなる飛躍が期待される大会となりました。

なお、7月に予定されていた第49回全国酪農発表大会は現下の状況を踏まえ、来年に延期となりました。



# 酪農動向調査について

指導課

令和2年2月1日現在の宮城県酪農動向調査結果をご報告します。

当組合においては生乳出荷戸数257戸、乳牛飼養頭数は11,131頭、1戸当たりの平均飼養頭数は43.3頭となっております。

1年前と比較すると、生乳出荷戸数で13戸が減少しておりますが、1戸当たりの平均飼養頭数は約2頭増(平成31年2月1日 41.2頭)となっております。

(単位:戸・頭)

組合名	令和2年2月1日						平成31年2月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農組合本所	115	4,259	2,800	360	380	719	121	4,173	2,742	354	338	739	-6	86	58	6	42	-20
みやぎの酪農組合仙南支所	101	5,444	2,973	350	657	1,464	106	5,568	3,069	383	650	1,466	-5	-124	-96	-33	7	-2
みやぎの酪農組合登米事業所	41	1,428	944	161	94	229	43	1,399	958	145	87	209	-2	29	-14	16	7	20
みやぎの酪農協計	257	11,131	6,717	871	1,131	2,412	270	11,140	6,769	882	1,075	2,414	-13	-9	-52	-11	56	-2
全農宮城県本部	70	2,743	1,799	184	319	441	78	2,752	1,775	217	379	381	-8	-9	24	-33	-60	60
宮城酪農組合	117	4,625	2,834	403	486	902	127	4,752	2,988	392	436	936	-10	-127	-154	11	50	-34
宮城県合計	444	18,499	11,350	1,458	1,936	3,755	475	18,644	11,532	1,491	1,890	3,731	-31	-145	-182	-33	46	24

# 第71回通常総会の開催について

総務課

新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言が解除されましたが、自粛解除に伴う第2波が予想されるだけに、「3密」を避ける等の対策は依然として行っていかねばなりません。

長期化が見通されるなか、組合員の皆様の健康と安全を守ることが最優先であると考え、感染機会を少なくするため、地区説明会を中止し、総会についてはできる限り書面での決議のお願いや昼食提供の自粛等も行いながら、縮小してとりおこないます。

区分	開催日時	会場
地区説明会	新型コロナウイルス感染症拡大防止につき、地区説明会は中止といたします。	
総会	令和2年6月25日(木) 午後1時30分	宮城県宮城郡松島町 【ホテル松島大観荘】

# 令和元年度 生乳需給状況について

## 1. 全国(販売乳量)

令和元年4月～3月の受託乳量は6,988,935㍓、前年同期比100.4%と前年並みとなっております。地域別には、4月～3月計で北海道は2.5%増加となっております。都府県は4月～3月計で2.3%減少しております。

令和元年度 全国生乳受託実績

(単位:㍓、%)

地区名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和元年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
北海道	993,799	101.0	983,109	103.2	963,759	102.0	987,648	104.0	3,928,315	102.5
都府県	800,290	96.8	727,060	96.6	745,422	98.0	787,848	99.6	3,060,620	97.7
全国	1,794,089	99.1	1,710,169	100.3	1,709,181	100.2	1,775,496	102.0	6,988,935	100.4

## 2. 東北(販売乳量)

4月～3月の受託乳量は507,240㍓、前年同期比97.5%となっております。青森県では平成29年12月より28ヶ月連続で前年を上回っております。

令和元年度 東北生乳受託販売実績

(単位:㍓、%)

県	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和元年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
青森	17,748.0	103.1	17,572.0	104.6	17,880.0	104.7	18,428.0	107.0	71,628.0	104.9
岩手	48,721.0	98.0	47,655.0	98.3	47,368.0	101.8	48,351.0	101.7	192,095.0	99.9
宮城	27,947.0	96.4	26,304.0	95.9	26,657.0	98.6	27,874.0	101.7	108,782.0	98.1
秋田	5,974.0	92.0	5,696.0	93.5	5,631.0	95.2	5,944.0	98.8	23,245.0	94.8
山形	13,009.0	84.4	12,204.0	85.3	11,941.0	82.5	12,517.0	81.9	49,671.0	83.5
福島	15,956.0	94.3	15,086.0	93.0	15,051.0	97.5	15,722.0	98.4	61,815.0	95.7
計	129,355.0	96.0	124,517.0	96.3	124,528.0	98.5	128,836.0	99.5	507,236.0	97.5

## 3. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、4月～3月の飲用牛乳向け372,807㍓、前年同期比96.5%、特定乳製品向け43,938㍓、前年同期比105.3%となっております。その他の用途別については、はっ酵乳等向け80,739㍓、前年同期比99.3%、チーズ向け1,915㍓、前年同期比89.7%、生クリーム等向け7,837㍓、前年同期比93.5%となっております。また、3月は新型コロナウイルス感染症の影響による学校休校に伴い、学校給食用向け生乳が特定乳製品向けへ変更になったことで飲用向けが前年比94.7%と落ち込みました。

令和元年度 東北用途別販売実績

(単位:㍓、%)

用途	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和元年度計		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
総受託販売乳量	129,355.0	96.0	124,517.0	96.3	124,528.0	98.5	128,836.0	99.5	507,236.0	97.5	
飲用等向け	飲用牛乳向け	94,181.0	95.9	93,760.0	95.6	93,928.0	97.3	90,938.0	97.2	372,807.0	96.5
	はっ酵乳等向け	21,687.0	95.3	20,639.0	98.8	18,340.0	101.4	20,073.0	102.3	80,739.0	99.3
乳製品向け	特定乳製品向け	11,293.0	98.6	7,870.0	97.6	9,042.0	107.8	15,733.0	113.8	43,938.0	105.3
	生クリーム等向け	1,697.0	97.5	1,779.0	99.9	2,726.0	94.2	1,635.0	83.4	7,837.0	93.5
チー ズ 向 け	497.0	92.7	469.0	89.4	492.0	87.7	457.0	89.1	1,915.0	89.7	

### 4. 宮城県(販売乳量)

4月～3月の受託乳量は108,782ト、前年同期比98.1%と前年より1.9%減少しております。また、3月の出荷戸数は442戸と前年より31戸減少しております。

令和元年度 宮城県生乳受託販売実績

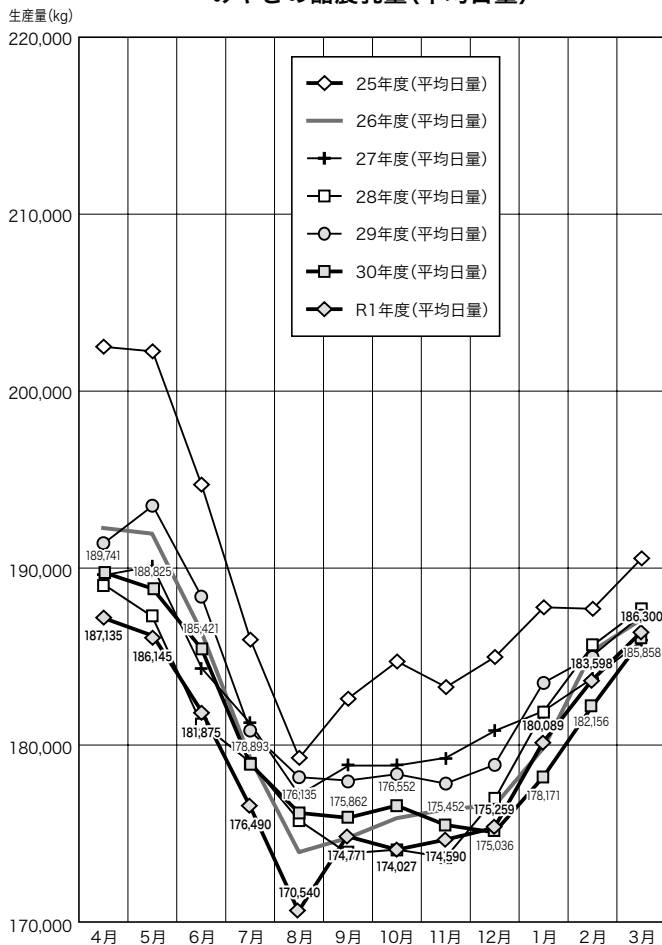
(単位:ト、%)

団体名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和元年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
みやぎの酪農	16,807	98.6	15,936	98.0	16,053	99.5	16,594	101.6	65,390	99.4
全農 宮城	4,072	91.6	3,761	90.5	3,854	96.2	4,232	102.9	15,919	95.2
宮城酪農	7,068	94.1	6,607	94.3	6,750	97.9	7,048	101.0	27,473	96.8
宮城県	27,947	96.4	26,304	95.9	26,657	98.6	27,874	101.7	108,782	98.1

### 5. みやぎの酪農(バルク乳量)

4月～3月の受託乳量は65,589ト、前年同期比99.4%と0.6%減少しております。また、3月の出荷戸数は257戸と前年より12戸減少しております。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和元年度生乳生産実績(4月～3月 標準進捗率100%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	26	9,126,722.6	9,090,924.6	100.39	9,050,709.0	100.84
蔵王支部	24	8,370,383.5	8,449,223.6	99.07	8,411,847.0	99.51
柴田支部	15	4,143,948.5	4,164,953.0	99.50	4,146,530.0	99.94
伊具支部	18	5,105,937.6	5,249,023.2	97.27	5,225,801.0	97.71
仙台支部	12	3,636,821.4	3,712,112.1	97.97	3,695,691.0	98.41
名取支部	6	935,863.0	970,652.0	96.42	966,360.0	96.84
黒川支部	7	1,270,664.0	1,110,876.0	114.38	1,105,962.0	114.89
大崎支部	19	3,341,503.0	3,489,346.0	95.76	3,473,912.0	96.19
遠田支部	16	6,466,808.0	6,178,177.0	104.67	6,150,849.0	105.14
加美支部	15	2,432,499.0	2,660,994.0	91.41	2,649,223.0	91.82
鳴子支部	10	2,164,055.0	2,203,881.0	98.19	2,194,130.0	98.63
栗原支部	31	6,132,555.0	6,186,509.0	99.13	6,159,141.0	99.57
登米支部	26	7,246,143.0	6,995,548.0	103.58	7,079,035.0	102.36
志津川支部	9	1,138,803.0	1,273,534.0	89.42	1,267,900.0	89.82
本吉支部	6	656,243.0	773,344.0	84.86	769,924.0	85.23
石巻支部	6	944,739.0	994,502.0	95.00	990,103.0	95.42
豊里支部	11	2,476,130.0	2,434,654.0	101.70	2,423,883.0	102.16
みやぎの酪農	257	65,589,818.6	65,938,253.5	99.47	65,761,000.0	99.74

※出荷戸数については、直近の数字です。

# 令和2年度 組合事業の内容について

## 販売課

### ● 生乳増産対策事業(継続)

目的：生乳生産基盤強化により、経営安定及び生乳の安定供給を行うため、生乳増産対策事業を実施する。

内容：3ヶ年(平成29・30・令和元年度)の平均出荷乳量を上回った分に対して10円/kgの奨励を行う。

### ● 良質乳生産奨励対策の実施(継続)

目的：消費者の「食の安全・安心」に対する関心の高まりから、組合として良質乳生産が求められているため、良質乳生産確保の観点から奨励金の交付を実施する。

内容：月2回の配分検査において、基準値を年間通してクリアした生産者に対し、出荷乳量に応じて、0.4円/kgを交付する。

### ● 乳質改善共励会の実施(継続)

目的：食品の安全確保に向けた取り組みが求められている中、酪農経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を乳業者に供給するとともに、生乳の広域流通にも対応し得る乳質向上により、生乳の有利販売に繋げることを目的に共励会を実施する。

内容：年間通して本組合に生乳を出荷している生産者で、バルク乳(4月1日から3月31日までの12ヶ月間)の検査成績により、下記の【配点表】による得点により審査する。また、生乳生産管理チェックシートを不備無く記帳し、販売不可能乳(廃棄事故)の発生がなく、牛舎環境の整理整頓がされている生産者であることとする。

【乳質改善共励会 配点表】

項目	基準	配点
細菌数	1万未満	10
	1万～3万未満	7
	3万～6万未満	5
	6万～10万未満	2
細胞数	10万未満	10
	10万～15万未満	7
	15万～20万未満	5
	20万～30万未満	2
脂肪率	4.0%以上	10
	3.9%～4.0%未満	7
	3.8%～3.9%未満	5
	3.5%～3.8%未満	2
無脂乳固形率	8.9%以上	10
	8.7%～8.9%未満	7
	8.5%～8.7%未満	5
	8.4%～8.5%未満	2

最優秀賞	1名	賞状・賞金 10万円
優秀賞	3名	賞状・賞金 7万円
優良賞	6名	賞状・賞金 5万円
努力賞		賞状・賞金 3万円

※賞金につきましては、金額相当の購買利用券を贈呈いたします。

※良質乳生産奨励対策、乳質改善共励会の乳質基準は、脂肪率3.5%以上・無脂固形率8.4%以上・細菌数10万/ml未満・細胞数30万/ml未満とする。



## 購買課

### ● 良質自給粗飼料生産確保対策(草地簡易更新事業)【拡充】

目的：近年の猛暑、大雨、台風の自然災害の発生や、震災後の除染から数年経過しており裸地や雑草が増えている状況です。このことから良質な粗飼料の増産と確保、粗飼料基盤の強化を目的に事業を継続します。

内容：正組合員を対象に春と秋の2シーズンに簡易更新機の貸出を行う。希望者が多い場合はまとまった面積のある方を優先させていただきます。利用料は1ha当たり5,000円(税別)。

### ● 購買品季節の支援対策【拡充】

目的：夏場の猛暑による乳量の減少や乳質の悪化、また、冬場の寒さによる子牛の体調管理や事故防止を目的に、その季節に役立つ資材を紹介、供給する。

内容：夏場…重曹、ビタミンミネラル剤等のキャンペーン(5月～10月)  
冬場…子牛用防寒着等のキャンペーン(11月～12月)

## 指導課

### ● 乳房炎ワクチン接種助成事業【新規】

目的：酪農家において乳房炎の発症は経営の損失が最も大きい疾病であることから、初妊牛へ乳房炎ワクチン接種を行い収益と乳質の向上を目的として実施する。

内容：初妊牛への乳房炎ワクチンを接種後、助成交付申請書等(交付申請書・授精証明書・妊娠鑑定書・乳房炎ワクチンの請求書等)を組合へ提出する。

1頭の助成金額は1回1,000円とし、上限は3回分の3,000円とする。

### ● 良質乳対策(バルク乳スクリーニング検査)【拡充】

目的：近年、体細胞数による格差金が増額傾向にあります。この状況を軽減するため、バルク乳のスクリーニング検査を実施し、乳房炎対策を行うことで安定した収入の確保を実現するために実施する。

内容：年4回バルク乳の検体を採取し共済組合にてスクリーニング検査を実施する。

1回当たりの助成金額は1,000円とする。

～事業の詳細については、各所までお問合せください～

## 北米コンテナ情勢

3月～4月にかけて多くの船会社で硫黄排出規制の対策費として、コンテナ1本あたり50～100ドルの海上運賃一斉値上げが実施されています。他方で、新型コロナウイルスの影響で貨物量が減少しているため、まだ値上げに踏み切れていない船会社もあります。また、原油価格の下落により、一部では1コンテナ10～25ドルの運賃値下げの動きがありますが、一斉値上げの額のほうが大きいため、反映できていない状況です。

アメリカでは3月下旬から実施されている外出制限により店舗や工場の休業が続いていますが、港湾関係は生活に不可欠なため稼働が続いています。直近では経済活動の制限緩和が徐々に開始されていますが、寄港する船数が減少しているためターミナルは時短営業となり、その影響でコンテナが搬入期日に間に合わず、入船が遅れるケースが増加しています。また、コロナウイルスによる世界経済の停滞を受け、北米西岸部から出航する船が減便されたため、貨物の集中や、空コンテナの不足により、船腹の予約がとりづらくなっている状況です。なお、日本国内の業者は数週間先の分まで乾牧草を入船させる等の対応をしており、現時点では特に問題は見られませんが、今後も注視が必要な状況です。

## 輸入粗飼料

### ①ビートパルプ(US産)

19年産は工場での生産がほぼ終了しています。20年産は地域によって作付面積の増加が見込まれ、4月中旬から新穀の播種作業が続々開始されていますが、雪解けや天候不順で進捗状況に差がでているようです。

### ②アルファルファ

#### (A)ワシントン産

主産地であるコロンビアベースンの生育は順調で、1番刈は5月上～中旬頃から開始されています。作付面積は昨年と同程度と見られています。

#### (B)オレゴン産

南部では積雪が少なかったため、干ばつ傾向のようですが、中部と共に生育状況は例年並みで、作付面積も同様のようです。順調にいけば6月上～中旬から収穫が始まる見込みです。

### ③チモシー

#### (A)US産

今年は暖冬だったため生育は順調で、6月上旬から収穫が始まる予定ですが、19年産の取引価格が著しく下落したため転作が進み、主産地のコロンビアベースンでは20年産の作付面積は前年比25%減と予想されています。

#### (B)カナダ産

産地のアルバータ州南部及び中部では19年産の輸出向けは日本及び韓国の安定した需要もあり、ほぼ成約済みです。この出荷ペースが続けば、20年産収穫までに余剰在庫はほぼ無くなる見通しです。19年産の取引価格は下落したものの、作付面積の変動は少ないようです。

### ④豪州産オーツヘイ

豪州でも3月にコロナウイルスに対する緊急事態宣言が出されていますが、農業分野の活動は許可されており、サプライヤーは工場を稼働させています。

コロナウイルスの影響で北米産のスケジュールが乱れているため、一部の需要が豪州産へ移っています。このためサプライヤーの供給力を上回る注文量となっており、製造スケジュールが逼迫しています。

20年産については、東～南豪州では播種前に潤沢な降雨があり、良好な播種期を迎えているようです。西豪州では土壌が乾燥した状態で播種が始まっていますが、今後は降雨の予報が出ており、当面水不足の心配は無さそうです。

# 暑熱対策 添加物キャンペーンのお知らせ



今年の夏の気温は、平年並みかそれ以上と予想されており、乳牛の体調管理にはより一層の注意が必要です。

そこで、今年は暑熱対策用添加物のキャンペーン期間を拡大して、5月から10月まで実施しますので是非ご利用ください。

## キャンペーン対象商品

- ゼンラク重曹(マッシュ、ペレット)……20kg
- イオンケア……………10kg
- ウィルファリン……………25kg
- VMスペシャルP……………20kg
- スーパーベスタ10……………1000ml
- グッドコンディション……20kg
- クイックエナジープラス…20kg
- ミネグッド……………20kg
- アシッドバフ……………25kg

※4月下旬にパンフレットを配布させていただいておりますのでご確認ください。  
不明な点がございましたら各所購買担当へお電話ください。

## 理事会通信

### 【第12回理事会】

- 開催日 令和2年3月30日
- 付議事項
- 第1号議案 令和元年度決算基準(案)について
  - 第2号議案 総務委員会及び業務委員会からの答申について  
(令和2年度事業計画(案)について)
  - 第3号議案 理事会推薦理事候補者の推薦について
  - 第4号議案 令和2年度借入金の最高限度の決定について
  - 第5号議案 令和2年度貸付金の利率の最高限度の決定について
  - 第6号議案 令和2年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
  - 第7号議案 令和2年度の余裕金の運用について

### 【第1回理事会】

- 開催日 令和2年4月30日
- 付議事項
- 第1号議案 監事に提供する決算書類の承認について

## 【機 械】

品 名	バルククーラー(密閉式・自動洗浄)
メーカー	東北オリオン(株)
容 量	1,400 ℓ
年 式	2008年ごろ
価 格	要相談
備 考	R22フロンガスを使用しております。 未修理のためガス補充は可能です。



## 【初妊牛】

支 部	生 産 者 名	分 娩 予 定	授 精 種
白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	7月20日	乳用種
白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	7月23日	交雑種
伊具支部	菊地 栄治	7月28日	交雑種
白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	8月2日	乳用種
白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	8月9日	交雑種
白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	9月3日	乳用種
白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	9月14日	交雑種
白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	9月20日	乳用種性判別
白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	10月20日	交雑種

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う物品のご寄付

総務課

現在、品薄となっている**マスク・ガーゼ**を職員へ組合員の方々から、ご寄付していただきました。貴重な物品をありがとうございました。

### [ 編 集 後 記 ]

今年は年明けからコロナの影響もあり気が付けば1年の半が過ぎようとしています。編集後記を書きながら季節を追いかけっていると、アッという間に1年が過ぎて行くことを改めて感じました。

発行 .....

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

**みやぎの酪農農業協同組合**

TEL.(0229)34-2311(代表)